



NETWORK VOL.164

TERRA

会長エッセイ

和顔愛語

認定NPO法人 地球市民の会 会長 佐藤 昭二



天意現成

我が家（世界平和道場）の大広間に掲げられている条幅は、高さ3メートル、幅1メートルもある大きな条幅です。

そこには黒々と「天意現成」と力強く書かれています。

佐賀の書家、土肥春嶽先生の揮毫によるものです。

読みは（てんいげんじょう）と読みます。

前にも述べましたが意味は、この世に現れる事柄は全て「天意」すなわち「神」の意志であると言うことです。

「神」とは即ち大自然であります。したがって私たちの身の回りから社会現象に至るまで、起こってくることは「天意」であり、自然の摂理であります。

楽しいこと、嬉しいことはもちろん、辛いこと、悲しいこと、苦しいこと、事故災難に至るまで現象に現れることは天意であります。それは「気づき」をうながしているのです。

しかし、この辛いこと、悲しいこと、苦しいことから逃げんがために、私たちは気学、易学、方位

学、占い等を駆使しているようですが、正直逃げ切ることにはできません。

よしんばあらゆる手を使って逃げ切ったかのように見えても、その方の子どもや孫に受け継がされています。これは気付くまで続きます。そして何代でも続きます。悪しき精神伝統です。

人は往々にして、自分に都合の好いことは取り入れ、自分にとって都合が悪ければ認めようとしなないものです。

認めようとしないと云うことはそれを正そう（改めよう）と、しないと云うことです。東京大学病院の外科の責任教授が「この世は全て憑依である。これが分からなければあらゆる病は直せないだろう」ということでした。病にかかわらず、私たちに起こってくる喜び、苦しみは、全て天意であることを自覚しなければなりません。

そこには「私たちは生きている」ではなく「生かされて、生きている」という気持ちが必要なことと思います。

CONTENTS ■2016秋

■地球市民の会

さとおや通信	2
ミャンマー通信	3
小学生わくわく里山キャンプ2016 夏休みふるさとステイ	4
協力者一覧	5

■ユニカレさが

Across The Border ～すべての人が「希望」とともに～	6
------------------------------------	---

■和スポーツクラブさが・古賀道場

アイアムGENKI	7
-----------	---

■共同執筆

10～12月のスケジュール	8
---------------	---

